

1) Publication under JITSUKAI HEISEI 5-60478:

This disclosure is characterised by a circular sewing attachment to be mounted at the right-hand side of the needle position.

Compared with our application, the disclosed structure will not only make cloth feeding work inconvenient but also obstruct smooth sewing operation.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開実用新案公報 (U)

(11)実用新案出願公開番号

実開平5-60478

(43)公開日 平成5年(1993)8月10日

(51)Int.Cl.⁸

D 0 5 B 35/00

識別記号

庁内整理番号

A 7152-3B

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数1(全 3 頁)

(21)出願番号 実願平4-2239

(22)出願日 平成4年(1992)1月24日

(71)出願人 000003399

ジューキ株式会社

東京都調布市国領町8丁目2番地の1

(72)考案者 小川 達矢

東京都調布市国領町8丁目2番地の1

ジューキ株式会社内

(72)考案者 林 稔

東京都調布市国領町8丁目2番地の1

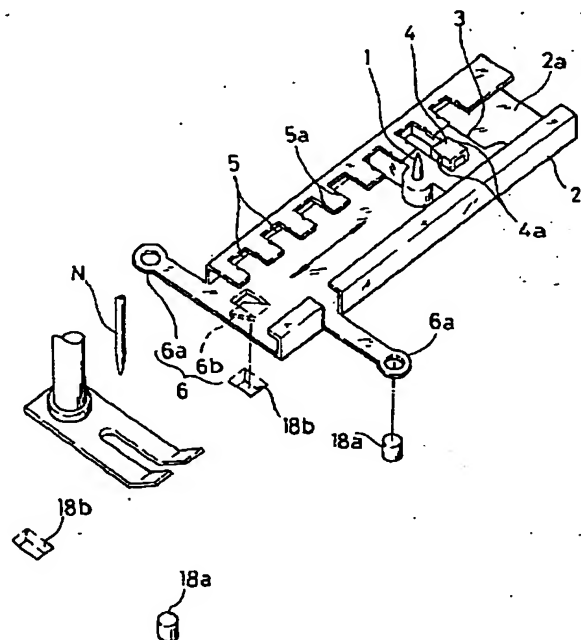
ジューキ株式会社内

(54)【考案の名称】 円形縫いアタッチメント

(57)【要約】

【目的】 布地をミシンとにより円形状に移動させ、円形縫い目を形成する円形縫いアタッチメントにおいて、円形縫いアタッチメントを小形化し、布地を回転可能に保持する針の位置調節を容易なものとするとともに針の縫製時の不要な位置ずれを防止する。

【構成】 直線状のスライド溝2aを備えるとともに、スライド溝2aに沿って複数の凹部5を並列に備えた支持体2と、支持体2のスライド溝2aに滑動可能に支持され、上面に立設する針1を備えた調節体3と、調節体3に設けられ支持体2の凹部5方向に進出して、支持体2の凹部5に嵌合し、調節体3を支持体2に固定する固定手段4と、支持体2に設けられ、支持体2をミシンの縫い針の左右いずれかに設置する設置手段6と、を備えて構成する。



1

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 直線状のスライド溝を備えるとともに、このスライド溝に沿って複数の凹部を並列に備えた支持体と、

支持体のスライド溝に滑動可能に支持され、上面に立設する針を備えた調節体と、

調節体に設けられ、支持体の凹部方向に進退して、支持体の凹部に嵌合し調節体を支持体に固定する固定手段と、

支持体に設けられ、支持体をミシンの布送り方向において縫い針の左右いずれかに設置する設置手段と、を備えて構成したことを特徴とする円形縫いアタッチメント。

【図面の簡単な説明】

【図1】 この考案に係る円形縫いアタッチメントの一実施例を示す外観斜視図である。

【図2】 図1に示した円形縫いアタッチメントの固定手段を示す断面図である。

【図3】 針を備えたピン体と、ミシンの布載置台に形成された針受け穴と、からなる従来の円形縫いアタッチメ

2

*ントを示す外観斜視図である。

【図4】 円形縫いアタッチメントをミシンの縫い針を介して、左右に設置位置を変更した際に形成される円形縫い目を示す説明図である。

【図5】 ミシンの布地載置台に固定可能な固定手段を備えた従来の円形縫いアタッチメントを示す外観斜視図である。

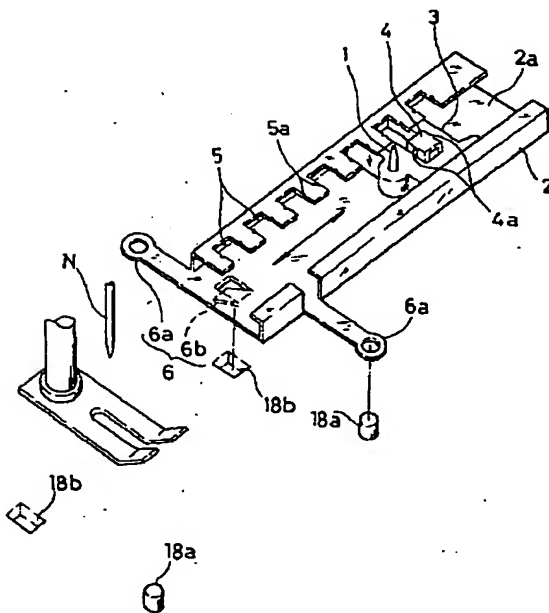
【図6】 図5に示した円形縫いアタッチメントがミシンに設置された状態を示す外観斜視図である。

【図7】 パネ体の付勢力により針の設置位置調節を行えるようにした従来の円形縫いアタッチメントを示す外観斜視図である。

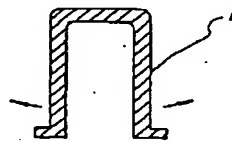
【符号の説明】

- 1 針
- 2 支持体
- 3 調節体
- 4 固定手段
- 5 凹部
- 6 設置手段

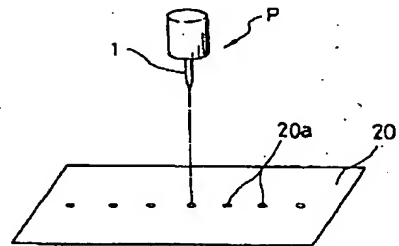
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

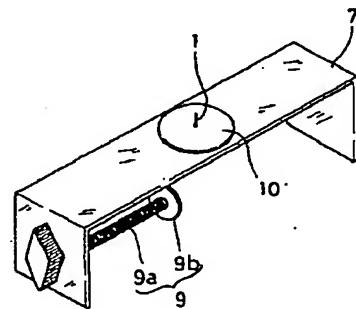
(a)

A B C

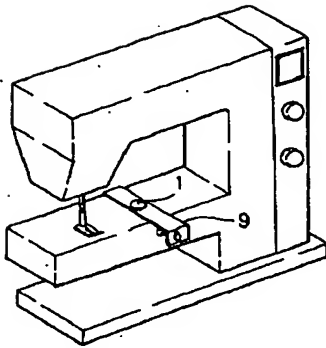
(b)

A B C

【図5】



【図6】



【図7】

